



伊豆沼のハス・栗原市


計量みやぎ

2014.8.15
 編集発行
 仙台市太白区長町7-22-23
 (一社)宮城県計量協会
 TEL 246-2466・FAX 247-1490
www.keiryō.net/

第三回 定時総会開催

平成二十六年定時総会は、六月六日「ホテルモントレ仙台」において開催されました。

総会は、千葉副会長が開会を宣し、鍋島会長の挨拶に続いて、計量功勞者の表彰に移り、宮城県知事褒賞一名、計量協会長表彰四名、同褒賞五名の方々がそれぞれ受賞され、受賞者を代表して熱海周一氏が謝辞を述べ、宮城県知事代理の高橋裕喜経済商工観光部産業立地推進課長、石川光次郎宮城県議會議員、渡辺博仙台市議會議員から表彰者への祝辞を頂き表彰式を終了し、議事の審議に入りました。

議事進行は、定款に基づき鍋島会長が議長に就き、議案は第一号から第三号までの三案で、事務局から説明がなされ、それぞれ満場一致で承認されました。



第3回定時総会開催



知事褒賞受賞



御来賓の方々

引き続き事務局から公益目的支出計画の実施状況、本年度事業計画・収支予算報告、本年度北海道で開催される東北・北海道計量大会の案内があり、笠原副会長の閉会挨拶で終了しました。

なお、知事から協会への祝辞は、一般社団法人として新たなスタートを切れ三年目を迎え、本県の計量思想の普及と業界発展にとってさらに大きな力になっていく協会への期待と、「宮城県震災復興計画」再生期の最初の年度にあたり被災地の復旧にとどまらず県内産業の在り方や公共施設等の整備・配備など県内基盤の抜本的な再構築を進める「宮城の将来ビジョン」に掲げた将来像の実現を図る県の方針への協力依頼があり、結びに当協会の発展と会員のご健勝祈念がありました。

計量功労受賞者

宮城県知事褒賞

熱海 周一 氏

(一財)宮城県公衆衛生協会

(一社)宮城県計量協会会長表彰

高橋 伸之 氏

(一財)宮城県公衆衛生協会

庄子 吉衛 氏

日東イシダ(株)

石原 和広 氏

トキコテクノ(株)東北支店

松永 博幸 氏

(一財)宮城県公衆衛生協会

(一社)宮城県計量協会会長褒賞

猪股 敏春 氏

日東イシダ(株)

伊藤 知道 氏

日東イシダ(株)

加藤 剛志 氏

(株)タツノ東北支店

川井 聡 氏

北日本環境整備(株)

鈴木 伸彦 氏

東陽エンジニア(株)



受賞者代表謝辞



受賞者の方々

決議議案等

《第一号議案》

平成二十五年度事業報告について
平成二十五年度の会員状況、総会・理事会等の主要会議、計量思想普及啓発事業の計量記念日事業「2013みやぎ計量のひろば」開催、宮城県工業品材料依頼試験受託事業、仙台市指定定期検査機関受託事業、表彰事業、代検査事業、材料試験機検査事業、計量管理受託事業、測定的基础研修会及び優良事業所視察研修会の開催、中央・地方団体との連携、行政機関との諸会議等について事務局説明後承認された。

《第二号議案》

平成二十五年決算報告について
事業活動収入 九一、八六五、八八六円
事業活動支出 九〇、六九六、六一六円
以上の事業活動等の決算報告について、事務局説明後承認された。

《第三号議案》

役員の一部選任について
人事異動等で辞任のあった四名の理事の交代候補者案について、事務局より提示され承認された。

(新任理事)

高橋 悟 理事

(株)タツノ東北支店

吉田 洋 理事

アズビル金門(株)東北支店

大竹 保典 理事

エヌエス環境(株)東北支店

二階堂 博 理事

東芝テックソリューションサービス(株)東北支店

《報告事項》

①公益目的支出計画実施報告について
一般社団法人移行時に課せられた公益目的支出事業について、二年目の実施状況も計画どおり遂行された旨の報告があった。

平成二十五年度公益目的支出額 三、一五五、〇二〇円

(累計五、一八六、六九九円)

当該事業年度末日の公益目的財産額 一〇、九七一、一四四円

(平成三十一年三月三十一日完了予定)

②平成二十六年事業計画について
本総会から理事会承認、総会報告事項になった、事業計画について実施事業計画の報告があった。(後掲)

(後掲)

③平成二十六年収支予算について
事業計画同様総会報告事項になった、平成二十六年収支予算について次のとおり報告があった。

事業活動収入 九六、九〇四、九六〇円

事業活動支出 九六、六九四、九六〇円

④計量功労者の表彰について
知事褒賞・会長表彰・会長褒賞受賞者の功績紹介があった。

⑤平成二十六年 東北・北海道計量大会について
今年度の東北・北海道計量大会は、ブロック最北の、北海道札幌市で開催されるその日程等の紹介があった。(後掲)



平成二十六年 事業計画

平成二十六年度は、東日本大震災の復興の進捗とともに、協会事業運営も回復してきましたが、本県再生発展のため、計量制度基盤の堅持と正しい計量思想の普及啓発に努めることを根幹に、会員皆様の連携と相互交流のもと、次の諸事業を推進してまいりますので一層のご支援をお願いいたします。なお、本年度から一般計量証明事業の登録要件であります主任計量者の資格取得試験(知事認証)のための講習会を、当協会で開催することにしました。

一 計量普及、啓発事業

- 計量記念日事業
「みやぎ計量のひろば」の開催
- 計量計測管理の普及推進
- 計量管理優良事業所等視察研修

- 計量に係る資料の作成配布、情報の提供
- 計量証明事業の主任計量者資格取得のための講習会(新規事業)

二 指定定期検査事業

- 仙台市の指定定期検査機関として、仙台市内の特定計量器(質量計)の定期検査を実施
今年度検査対象区域は、泉区・

宮城野区・若林区の
約一、四九三戸 四、二二七台
検査日数約一七〇日間

三 計量器検査事業

- 計量士による検査事業
計量行政機関に代わる質量計の定期検査・計量証明検査を実施
- 計量校正事業・材料試験機検査
県内約四九六戸、二、一八八台

- 計量器標準供給制度に基づく質量計の校正やコンタリート材料試験機等のJCS校正を実施
- 計量器の精度検査

四 官公庁受託事業

- 宮城県産業技術総合センターの工業品材料依頼試験の受託
- 仙台市の計量立入検査補助及び基準分銅管理業務の受託

五 計量管理事業

- 大規模小売店等の、計量士による計量器、商品量目の適正計量管理を実施
- 日本郵政グループの郵便局等の適正計量事業所の計量管理指導を実施

六 収入証紙売りさばき事業

- 宮城県の収入証紙売りさばき機関として、材料試験・計量器検定検査等の申請者に収入証紙の販売

七 計量行政並びに関係機関諸会議

- (一社)日本計量振興協会諸会議
- 計量記念日全国大会

八 計量情報の提供

- 計量情報・会員情報及び協会活動状況を、ホームページやメール発信で効果的に実施

- 東北・北海道計量大会
- 東北六県計量士協議会・計量士全国大会
- 計量行政・計量技術諸会議等に出席

一般計量証明事業と主任計量者

計量法の一般計量証明事業とは、運送・物を預かるときの貨物の積み卸しまたは入出庫等に際し貨物を計量し(質量・長さ・面積・体積・熱量)、その値が正しい旨を公にまたは業務上他人に証明を行う事業です。

この事業を行うには、その所在地を管轄する都道府県知事の登録を受けなければなりません。登録されるには、検定に合格した適正な計量器を使用し、計量区分に応じた計量士(国家資格)か「主任計量者」(計量の区分に適合する知識経験者)が従事しなければなりません。

この「主任計量者」とは、都道府県知事が行う計量に関する試験の合格者のことで、試験は宮城県では年三回程度実施されます。

また、登録後は、毎年事業報告書の提出や計量証明検査を定期的に(質量計にあつては二年に一回)受けなければなりません

登録されている会員の計量証明事業者は、協会ホームページで紹介しております。



計量証明事業所

平成二十六年 主任計量者試験と講習会のお知らせ

平成二十六年度第二回主任計量者試験と、その資格取得のための講習会日時は左記のとおりです。主任計量者試験

(実施機関：宮城県計量検定所)
平成二十六年十月十七日(金)
午後二時四十五分～
午後三時四十五分

主任計量者講習会
(実施機関：宮城県計量協会)
平成二十六年十月十七日(金)
午前十時～午後二時

※講習会参加希望者は当協会へご連絡下さい。
※詳細は協会ホームページをご覧ください。
<http://www.keiyo.net/>

計量記念日事業 何でもはかってみよう コンテスト

十一月一日の「計量記念日」にちなみ、小学生を対象にものを計ることに興味を抱き、新しい発想などを生み出すきっかけにしてほしい。何でもはかってみようコンテストの募集が今年度もはじまり、当協会長も全国計量記念日実行委員長として応援しております。

昨年度は全国から百点以上の応募があり、神奈川県小学六年生の「信号の規則と交差点での信号待ちを最適化する」が優秀作品に選ばれました。

会員各位はもちろん一般のお子さんの参加も期待し紹介させて頂きます。詳しくは協会ホームページを参照いたします。

※応募は平成二十六年九月五日までです。



一般公開 みんな集まれ 「技術のおもちゃ箱」



当協会の分室がある宮城県産業技術総合センター(泉区明通)では、去る七月四日(金)、五日(土)の両日、毎年恒例となりました「一般公開が行われました」。

この一般公開は、県民、特に青少年を対象として、技術と直にふれあう場を提供し、来場者に産業技術を身近に感じてもらうとともに、当センターの事業内容を広く県民の皆様に紹介してご理解をいただくため開催されているものです。

「工業製品から食品まで」に及ぶセンターの設備・機器を使用した「ものづくり」の楽しさに触れながら様々な成果物の展示・実演・体験教室が催され

ました。体験教室では宮城県内の伝統工芸を直に体験出来ることもあり、大勢の人達が長蛇の列を組み参加してました。

当協会においても二日目の土曜日に「鉄筋破断の驚きの瞬間を体験！」と銘打った実演を行いました。

これは普段建築・土木現場などで使用されている材料の鉄筋を引っ張り試験機で実際に引っ張りどのように破断するか？破断する際にはどんな音がするか？などを来場された方々に直に体験していただくコーナーです。

体験された方々は担当者の話に真剣に聞き入り、目の前で引っ張られる鉄筋が切れるのを今か今かと耳を塞ぎながら待ち、「ドスン！バチーン！」と切れた瞬間には皆一様に「ワーキヤー」と歓声をあげ大盛況の内に終わりました。

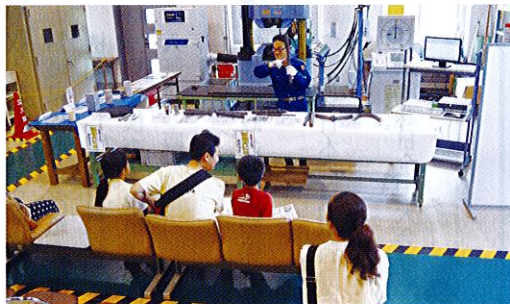
他にも自動車のエンジンを目の前で組み立て体験出来る

宮城県産業技術総合センター



平成26年度
産業技術総合センター
一般公開
「技術のおもちゃ箱」

《甲曹バージョン》
会場：宮城県産業技術総合センター（仙台市泉区明通2丁目2番地）
出陣：7月5日（土）10:00～16:00のどどこか



鉄筋破断試験の説明

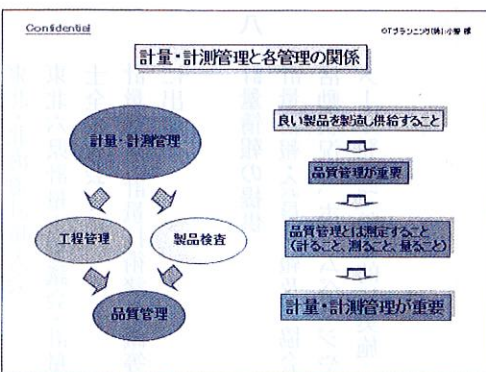
「エンジンビルダー」や熱量測定装置を用いた「食品のカロリー」を当ててみよう」など様々な催しが開催されており、毎年新しい産業技術とふれあうことが出来ますので、皆さんも来年は是非お越し下さい。

第十二回 全国計量士大会

計量士の計量に係る研鑽と意見情報の交換の場である全国計量士大会が、平成二十六年二月二十八日にホテルインターコンチネンタル東京ベイで開かれました。

自動車業界や計量コンサルタント会社等で活躍する計量士の方から事例報告があり、良い品質の製品を製造・供給するために工程管理と製品検査の品質管理が基盤であり、その手段として計量計測管理が密接に関わっている

ので、その計量計測システム(計量標準校正・画一された計測・計量ツールの管理と開発等)を構築するべきという、品質管理の重要性が増している今、着目すべきという発表がありました。



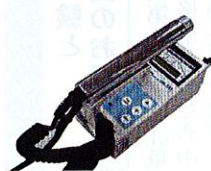
放射線計測の信頼性を確保するために

計測の信頼性には欠かすことの出来ない三つの要素があります。「正確な計測器を使用」・「計測器を正しく使用」・「計測者の高い技能」がそれです。

東日本大震災以降、放射線の計測は非常に高まってきましたが、当初から現在も出回っている放射線測定器は正しくなく、ものも数多くあるのは事実です。このことは、先の計測の三要素の一つである「正確な計測器」の供給に問題があり、いい加減な測定値が生まれているということです。

この正確な計測器の供給について、東北・北海道連合会は国に放射線測定器の法制度化を求めてきましたが、JCSS校正制度を活用した自主的な取組で対応と返答されました。しかし、それは公共機関や使用者にあまり浸透していないので、国の計量行政機関は校正制度等を活用した正しい計測器使用のガイドライン等を示し地方公共機関等を通じて、適正な計量の実施を行うよう、積極的に啓発してほしいと望みます。

なお、この連合会要望を受け協会上部団体の(一社)日本計量振興協会では、「放射線・放射能測定基礎講習会」を昨年の福島県開催から、本年度は京都や福島など全国三会場程度で実施することになりましたのでお知らせします。



11月1日は計量記念日

計量法は、その時代ごとに社会的・国際的な要請に沿って変革しながら、私たちの暮らしを守り支えてきました。物の量・長さ・温度の測定、そして体温や血圧の健康測定から栄養管理・環境測定、ものづくり産業等に至るまで、正しい計量は欠くことのできない大事な制度であります。

このように、社会生活の中にある様々な計量についての基盤を支えているのが計量法で、この計量制度の重要な役割を広く知っていただくため、現在の計量法が施行された平成5年11月1日を「計量記念日」と定め、経済産業省、全国の計量行政機関、計量関係団体は計量思想普及啓発のイベントを開催しております。

今年の本県の記念日事業は、仙台市八木山動物公園で『動物と計量・ふれあいひろば』をテーマとし計量に関心を持っていただくイベントを実施します。

皆様のご来場をお待ちしております。

11月1日は計量記念日



亀さんは年の甲ほど重いですよ

14'みやぎ計量のひろば

イベントご案内

今年も計量記念日にあたり「みやぎ計量のひろば」のイベントを開催いたします。ご来園のみなさん動物とふれあいながら楽しんで下さい。

平成26年 11月1日(土)11:00~14:00

日時

仙台市八木山動物公園(仙台市太白区八木山本町 1-43)

場所



動物の重さ・長さあてコーナー

- ○ の 重 さ は ?
- ○ の 重 さ は ?
- ○ の 長 さ は ?

11月1日 計量記念日

主催 (一社)宮城県計量協会

共催 宮城県・仙台市

計量一口メモ

時間と時刻の違い

皆さんは「時間」と「時刻」をどのように使い分けていますか？ おそらく日常生活では「今の時間は？」とか、「どのくらい時間がかかるの？」など、「時間」という言い方で大体済ませているのではないのでしょうか。

正確には「時間」というのは刻々と進行していく時の流れ、「時刻」とは何時何分何秒という、ある時の場所を示すもの。

その「時間」と「時刻」を決める基準は、実は違うものなのです。そんなばかなとお思いでしょうか？

時間は、昭和四十二年(一九六七)、定義の基準はそれまでの地球の運動から、原子の振動へと変更されました。なぜなら地球の自転速度は一定でない上に、それが正しいかどうか知るには、長い年月をかけた天体観測が必要だからです。そのようなことから、現在は原子を使って時間を決めていくのです。(原子時という)

一方時刻は、今でも地球の運動を元に決められています。

地球の運動は一定でないため一日毎の時間は日々微妙に異なっているのです。そのため時刻と時間にずれが生じ、それが大きくなるととき補正するため「うるう秒」で設定し直しているのです。

原子時は、世界中の原子時計を平均して作り、一秒が定義通りかどうかをチェックし、とても正確な原子時計を「一次標準器」といって、現在使いこなしている国は、ドイツ・アメリカ・フランス・日本の四カ国だけで、日本では産業技術総合研究所が保有しています。

※本記事は「独産業技術総合研究所広報ホームページより抜粋しております。」



計量行政等の動向

● 経済産業省計量関連部署の組織変更

本年度七月一日から、計量法関連の業務は、すべて計量行政室が担当することになりました。これまで知的基盤課が所管していた計量標準の整備、計量証明関連、計量行政審議会なども、計量行政室の所管に一本化され同課は廃止になりました。計量の窓口が一本化され、スムーズな計量行政の運営と積極的な計量行政の推進が期待されるところです。

● 中元期の商品量目の立入検査実施

宮城県及び仙台市では、中元期にスーパー・百貨店や食料品等製造工場などの、商品量目や使用されている計量器が正しいか立入検査を実施しました。

● 今年度の計量記念日のポスターができました。

今年の計量記念日のポスターは、計量記念日と同じ一九七四年十一月一日生まれのハローキティちゃんとその仲間たちです。体重計に乗るキティちゃんがかわいいです。

このポスターは会員の皆様へ近々配布いたします。

平成26年度 東北・北海道計量大会日程

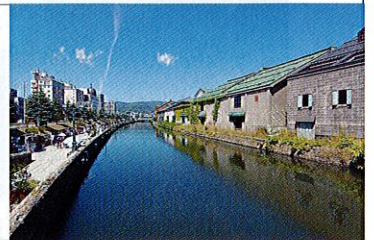
本年度の大会はブロック最北の海を越えた北海道札幌市で開催されます。

日程表

- 期 日 平成26年10月9日(木)～10日(金)
- 会 場 北海道札幌市中央区北1条西12丁目『ホテルさっぽろ芸文館』



期 日	時 間	行 事 名
10月9日(木)	10:30 ～ 13:00	受付・昼食
	13:30 ～ 14:45	東北・北海道計量大会
	15:00 ～ 16:15	第63次東北六県北海道計量協会連合会総会
	16:30 ～ 17:30	記念講演 (仮題)「ホスピタリティが地域と職場を変える」 講師 ノンフィクション作家・エッセイスト 千石 涼太郎 氏
	18:00 ～ 20:00	懇 親 会
10月10日(金)	8:30 ～ 15:00	【視察研修】 「ホテルさっぽろ芸文館」 →「白い恋人パーク」→「小樽運河」散策 →にしん御殿「小樽貴賓館」旧青山別邸 →札幌駅



平成二十六年年度 優良事業所の視察研修会のお知らせ



本年度の優良事業所視察研修会は、新潟方面の製紙工場や瓦製造工場などを計画しておりますので、会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

【期 日】

平成二十六年十一月二十日(木)～二十一日(金)

協会便り

協会事業も新年度から順調な運営が続いておりますが、本年度新たな事業に加わりました。一般計量証明事業登録の主任計量者試験のための第一回講習会が五月に行われました。十二名の受験者でしたが全員合格になり、講師の計量士は、ほっとしております。

また、宮城県総合技術センターの材料試験を行っている泉分室では、人生経験豊富な奥山秀敏さんが加わり、震災復興で繁忙を極める試験業務に日々励んでおります。

伊豆沼・内沼のハス

(表紙写真説明)

真夏真っ盛りの八月、宮城県栗原市の伊豆沼・内沼では、ハスの花が沼一面に咲きます。花は淡いピンク色で、大きな花が見事です。はすまつりでは、水面の植物を楽しんでもらう

地元漁師の漁船が湖面に浮かびます。



編集後記

日本経済はアベノミクス効果により円安、株高が進み、主要企業においては増益見通しや賃上げ回答が相次いでおりますが、業績の持続性や中小企業への波及には課題が多く実体経済は本格的な回復には至っておらず、計量界でも停滞感がみられ、これからどこに向かうかが課題です。

消費税増税を機に、相次ぐライフレインをはじめ公共料金等の値上げ、原油・輸入材料の高騰、各業界では価格値上げの転嫁を実施しておりますが、値上げに伴う客離れを懸念し、価格を据え置き商品の量を減らす策も講じられております。消費者は、値上げは困るが量を減らすのは仕方ないという方も多数います。体重・血圧やカロリー量は、真剣なのに、物の量には寛容な日本人。外国では、はかり売りの店の前では縦に並ばず横に並んで計量を監視しているところもあります。

この商品の量目、正しい計量器で正しく計らなければ、消費税上昇分より値上げになります。ぜひ正しい計量器が使われているかどうか監視して下さい。

正確なばかりの使用事業所

平成26年定期検査済

仙台市指定定期検査機関
一般社団法人宮城県計量協会